

HomeLink

管理会社向けマニュアル



本マニュアルはHomeLinkアプリにて使用可能な機器・サービスの設定及び操作方法等を記述しています。

目次

1. QR-Linkの基本運用
2. 初期準備
3. 入居時の作業
4. 退去時の作業
5. その他 管理機能
6. 機器交換が必要になった場合
7. スマートロック(美和ロック・シブタニ)を操作する

1. QR-Linkの基本運用

QR-Linkとは

QR-Linkでは、物件管理用の親アカウントで各住戸・機器を管理し、入居者様が入居者向けQRコードを読み込むことで、対象住戸の機器を利用できる仕組みです。

入居時の運用フロー(実施主体ごとの役割)



💡 ポイント

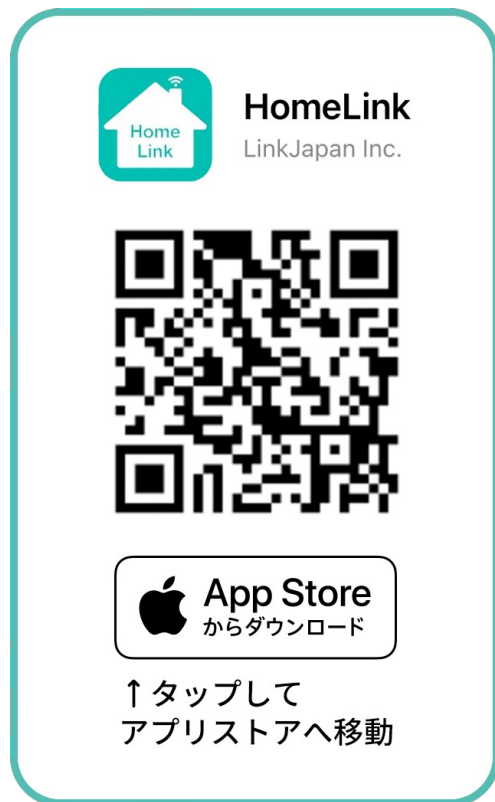
- ✓ 親アカウントで物件・機器を管理することが、入居時の運用の中心となります。
- ✓ 親アカウントの準備は、原則リンクジャパンが実施します。事業者様／管理会社様でご用意いただくことも可能です。
- ✓ リンクジャパンが各住戸ごとにQRコードを発行し、事業者様へ共有します。
- ✓ 入居者様がQRコードを読み込むことで、対象住戸の機器が利用可能になります。

2. 初期準備

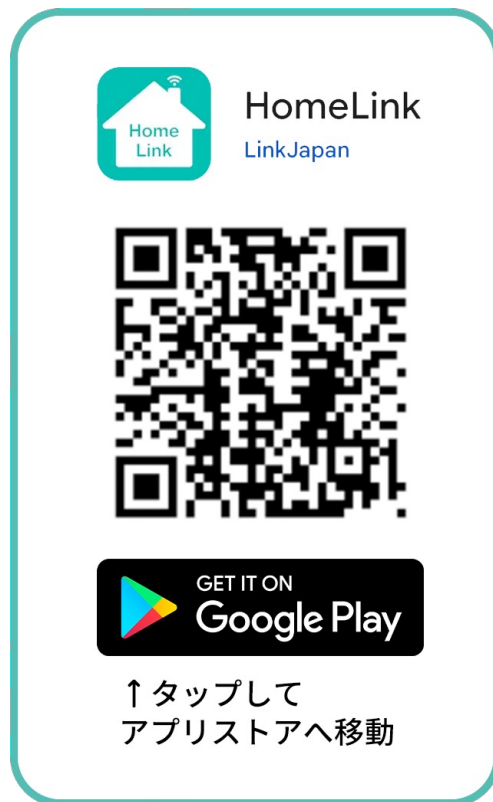
HomeLinkアプリのインストール

以下のQRコードをスキャンするか、ストアにて「HomeLink」と検索し、HomeLink（ホームリンク）アプリ（無料）をインストールしてください。

【iOS】



【Android】



注意事項

- ・ iOS15.1 Android7.0以上をサポートしています。
- ・ 位置情報など求められる権限をすべてオンにしてください。

2. 初期準備

物件管理用（親）アカウントのログイン

物件管理用の親アカウントでHomeLinkアプリへログインします。

ログイン時は、リンクジャパンまたは事業者様より共有されたメールアドレスとパスワードを使用してください。

【ログイン画面】



3. 入居時の作業

入居時にお渡しする案内冊子について

入居時の対応は、「初回導入時の入居」と「退去後、次の入居者様へ引き渡す場合」で確認内容が異なります。

初回導入時の入居

通常運用では、
リンクジャパンにて入居者向けQRコードを
発行し、QRコードを添付した入居者向け
案内冊子を事業者様へ共有します。

そのため初回導入時は、
管理会社様または事業者様にてQRコードの
保存・印刷・貼り付け作業を行う必要は
原則ありません。



退去後に次の入居者様へ引き渡す場合

退去後に、次の入居者様へ案内冊子を引き渡す場合は、
退去時にどの運用を行ったかによって対応が異なります。

退去時の運用	次回入居時の対応
 次の入居者様が QRコードを 読み込む運用	 既存の案内冊子を そのままお渡しできます。 
 QR-Linkを 初期化する運用	 QRコードは変わらないため、 既存の案内冊子を そのままお渡しできます。 
 QRコードを 変更する運用	 変更前のQRコードは 使用できないため、 QRコードを差し替えてから お渡しください。  旧QRコード (使用不可) 新QRコード (使用可能)

4. 退去時の作業

退去時の運用パターンについて

退去時の対応は、物件の運用方針により以下3パターンから選択してください。

パターンA

次の入居者がQRコードを読み込む



退去発生



次の入居者が
QRコードを読み込む



前入居者は利用不可に

管理会社様の作業 : 原則不要
セキュリティ : 低

パターンB

QR-Linkを初期化する



退去発生



QR-Linkを初期化



前入居者は利用不可に

管理会社様の作業 : 必要
セキュリティ : 中

パターンC

QRコードを変更する



退去発生



QRコードを変更



前入居者は利用不可に

管理会社様の作業 : 必要
セキュリティ : 高



注意事項

- ・退去者をすぐに利用不可にしたい場合は、パターンBもしくはCを実施してください。
- ・パターンCを実施した場合は、必ず案内冊子のQRを差し替えてください。

4. 退去時の作業

パターンA 次の入居者によるQRコード読み込み

次の入居者がQRコードを読み込むことで、前入居者様（退去者様）は対象住戸の機器を利用できなくなります。

本運用の場合、管理会社様によるアプリ操作は**原則不可**です。

① 次の入居者がQRコードを読み込む前

前入居者様は、アプリ上で
機器の**操作ができる状態**です。



② 次の入居者がQRコードを読み込む

次の入居者様がQRコードを読み込むと、
機器の利用権限が新しい入居者に切り替わります。



③ 読み込み完了後

前入居者様は、アプリ上で
機器の**操作ができなくなります**。



機器の操作が
できない状態

⚠ 注意事項

- 次の入居者様がQRコードを読み込むまでは、前入居者様がアプリ上で機器を**操作できる状態が残る可能性**があります。
- 退去後から次の入居者様の利用開始までの間は、住戸内のブレーカーを落とすなどして**機器の電源が入っていない状態**にすることで、**アプリからの操作を防ぐ**ことができます。
- 退去者様をすぐに利用不可にしたい場合、またはブレーカーを落とせない運用の場合は、「**QRコードを初期化する運用**」または「**QRコードを変更する運用**」を行ってください。

4. 退去時の作業

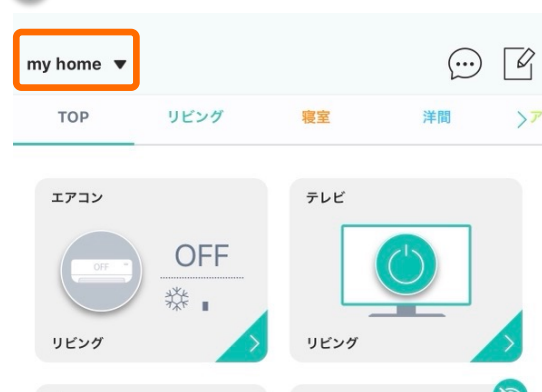
パターンB QRコードを初期化する運用

親アカウントでQRコードを初期化すると、子アカウントの利用権限を削除できます。

QRコード自体は変わらないため、案内冊子の差し替えは不要です。

親アカウントの操作（QRコードの初期化）

① 対象ホームを選択



② QR-Linkを選択



③ 初期化を選択



④ 「はい」を選択



⑤ 完了画面を確認



子アカウント側の状態

初期化後、
子アカウントでは初期画面となり
機器操作ができなくなります。



4. 退去時の作業

パターンC QRコードを変更する運用 ※案内冊子のQRコードを更新する必要があります

QRコードを変更し、同時に子アカウントの家電操作の権限を削除することが可能です。
この手順では、前の入居者がQRコードをまだ持っている場合にも有効な手順となります。

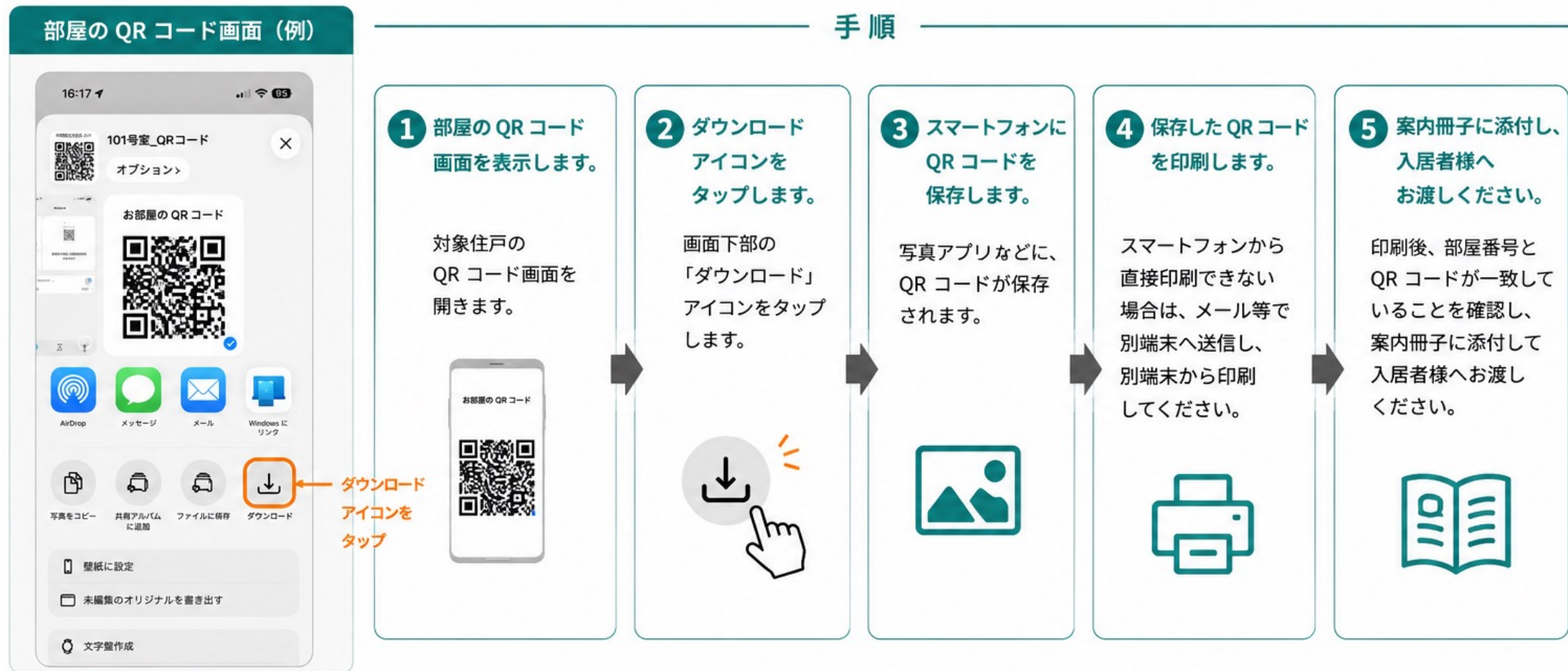
1. QRコードの変更をする



4. 退去時の作業

2. QRコードの印刷・案内冊子の引き渡し

QRコードを変更した後は、以下の手順で新しいQRコードを保存・印刷し、案内冊子に貼付してください。



注意事項

- ・ QR コードは部屋ごとに異なります。
- ・ 印刷時は、部屋番号と QR コードが一致していることを確認してください。
- ・ 複数部屋分を印刷する場合は、各部屋の QR コードを保存してからまとめて印刷してください。
- ・ QR コードを紛失した場合は、「QR コードを変更する運用」を再度行ってください。

4. 退去時の作業

カメラ製品を取り付けているお部屋の場合（追加作業）

カメラ製品は退去者自身のアカウントで登録されているため、QRコードの初期化や読み直し、再発行では削除されません。

もしお部屋内のWi-Fiに変更がない状態でそのままにしておくと、退去者がカメラの映像を閲覧できてしまうため、以下の作業を実施してください。

① カメラのリセット

リセットボタンを、カメラのランプが赤点滅になるまで長押ししリセットを行ってください。

カメラから音が流れ、少し待ってランプが赤点滅を続けるようになればリセット完了です。

② 電源を抜く

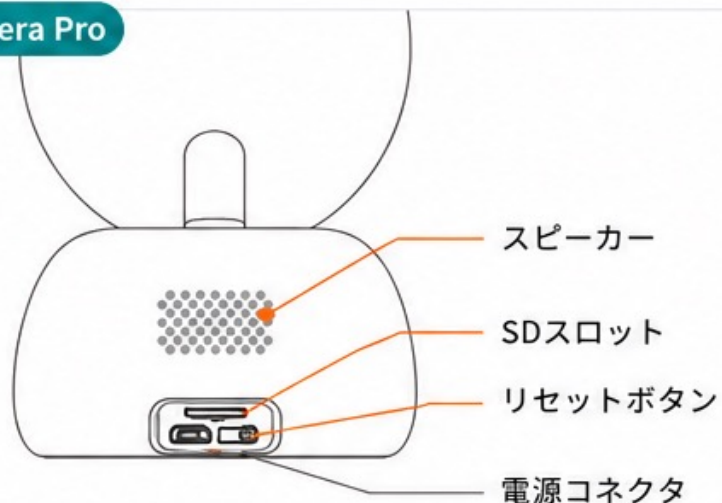
リセットができたなら

電源ケーブルを抜きカメラの電源をオフにしてください

③ SDカードを取り外す

SDカードスロットを確認し前入居者が抜き忘れていないかをチェックしてください。

eCamera Pro



eCamera 2



5. その他 管理機能

QRコードロック

QRコードは、子アカウントでQRコードを読み取り不可とさせる機能です。

親アカウント

1 QRコードロック を有効にする

QR-Link 画面で
「QRコードロック」を
ONにします。

▼

親アカウントで
無効にすると、
QRコードが
スキャン可能になります。



子アカウント

2 QRコードを スキャンしようとする

枠内にQRコードを入れると、
ポップアップが表示され、
スキャンできません。

▼

QRコードロックを有効に
している間は、子アカウント
ではQRコードのスキャンが
できません。



5. その他 管理機能

デバイスロック

デバイスロック機能は、ホーム内の登録機器を他のホームや他のアカウントで登録ができないようにする機能です。

機器設定時の誤登録や入居者（子アカウント）における機器設定変更を防止したい場合は有効にしてください。 ※初期値では設定は無効です。

親アカウント

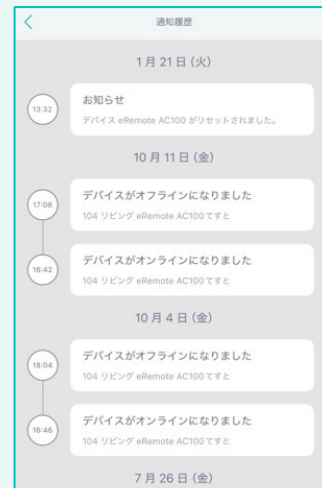
ホーム管理画面で
デバイスロックを
有効にできます。



デバイスロックが有効の場合

子アカウントで機器登録を
行おうとすると
ポップアップで通知されます。

通知履歴からも確認ができます。



子アカウント

デバイスロックが有効な場合
警告ポップアップが表示され
追加できません。



注意事項

・ 機器リセットされた場合、親アカウントで機器の再登録をする必要があります。

・ デバイスのロック解除方法は、元の親アカウントから無効にしてください。元のアカウントが不明な場合は解除できません。

5. その他 管理機能

リセットロック

リセットロックは、機器のリセット操作を無効化にし、意図しないリセットを防止する機能です。

通常は親アカウントで「有効／無効」を切り替えます。アプリから無効化できない場合は、機器本体のリセットボタンから強制的に解除できます。

親アカウントで 設定することができます



機器本体から強制解除

アプリから無効化できない場合は、機器本体のリセットボタンを30秒以上長押しし、強制解除されます。



強制解除後のアプリ表示

強制解除後は、設定画面からリセットロックの項目が非表示になります。



リセットロックの項目が
非表示になります。

再登録後

機器を再登録すると、
リセットロックの項目
が再表示されます。

対象機器

eRemote AC100／AC200・ハブ（BLE）・リンクロックM など

6. 機器交換が必要になった場合

故障などにより、機器交換が必要になった場合は、原則として物件管理用の親アカウントで交換作業を行ってください。

交換手順（原則：親アカウントで実施）

- 1** 交換前の機器を、物件管理用の親アカウントから削除します。

※入居者の利用するアカウントからも連動して削除されます

アプリ下部の「設定」
↓
「デバイス管理」
↓
「消したい機器」をタップ
↓
「ペンとノートマーク」
↓
「削除」

- 2** 交換機を取り付け設置したら親アカウントの削除したときと同じホーム上でセットアップを行います



「+製品」からセットアップを開始します
セットアップの方法や詳細は各機器のWebマニュアルをご覧ください

3

セットアップ完了後、
入居者のアカウントにも機器が
反映されます。

可能であれば、
入居者側でアプリを再起動して
ご確認ください

親アカウントでの登録が難しい場合

やむを得ない場合、入居者アカウントで機器をセットアップすることも可能です。
ただ、以下の点に注意してください。

- 1** QR-Linkで次の入居者へ移行する際、該当機器は**引き継がれません**
- 2** 退去後に**前入居者からの機器操作**を無効化するためには、**機器のリセット**が必要です
- 3** 物件管理用の親アカウントから該当機器の**管理ができなくなります**

上記の理由から、機器交換は可能な限り、**物件管理用の親アカウント**で行ってください。



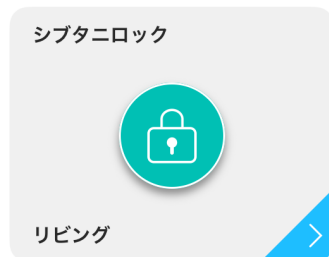
注意事項

- ・機器の削除および再登録は、該当住戸のWi-Fi環境下で行ってください
- ・原則として交換後の機器は**物件管理用親アカウント**で登録してください
- ・親アカウントで登録した機器は、**入居者アカウント**にも同期して表示されます

7. スマートロック（美和ロック・シブタニ）を操作する

スマートロックは、TOP画面または詳細画面から施錠・解錠ができます。

TOP画面



施錠時は緑の
アイコンになります



解錠時は灰色の
アイコンになります

「>」をタップすると操作画面へ進みます

Webマニュアル（詳細）

シブタニロック+リンクロック



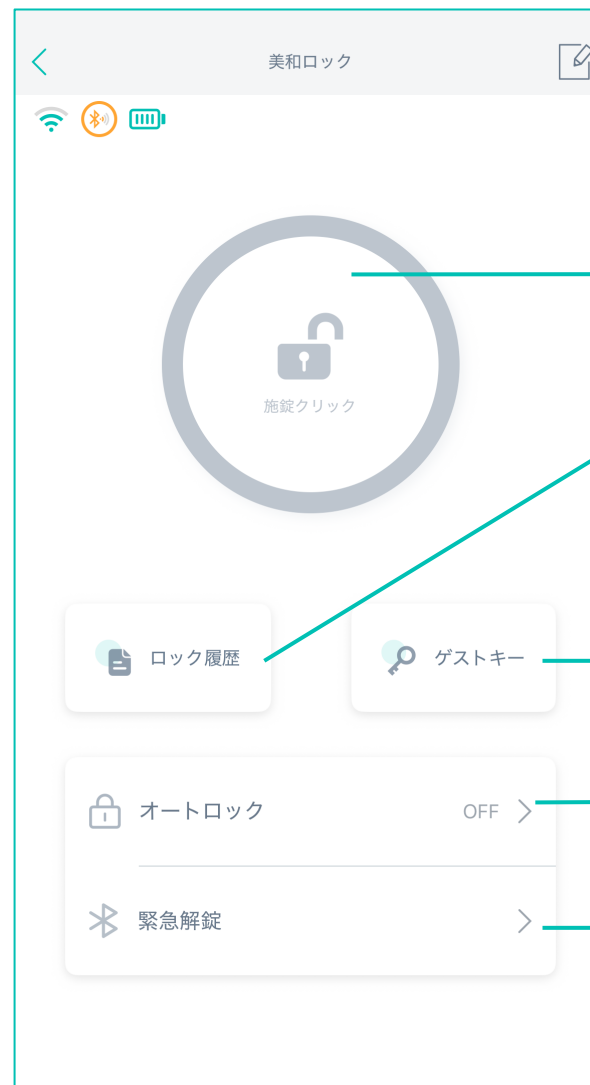
美和ロック+リンクロックM



美和ロック+ハブBLE



操作画面



タップで施錠・解錠

施錠・解錠の履歴を
確認できます

アプリを使わない
期限付きの鍵を
作成できます

オートロックを
設定できます

緊急解錠
詳細は次ページを
ご確認ください

7. スマートロック（美和ロック・シブタニ）を操作する

緊急解除機能により、ハブのWi-Fi接続が切断された場合でも、美和ロックの施錠・解錠ができます。

停電時やWi-Fiルーターの故障時など、緊急時にご使用ください。

- 1 ホーム画面で
美和ロックのパネルの
「>」をタップ



- 2 操作画面で
緊急解錠をタップ



- 3 解錠もしくは施錠を
タップ



- 4 検索中→操作中と表示
され、解錠もしくは施
錠が動作します



利用する場合の確認事項 緊急解錠を使用するときは以下をご確認ください

- ハブおよびスマートロックの電源が入っていること
- ハブのファームウェアが最新であること
- HomeLinkアプリが最新バージョンであること
- スマートフォンのBluetooth機能がオンになっていること
- スマートフォン・ハブ・スマートロックがBluetooth圏内にあること



シブタニロックについて

シブタニロックには緊急解錠機能がありません

シブタニロックとリンクロックは、Bluetooth圏内で操作する場合、Wi-Fiを使用せずにローカル操作を行うことができます。

そのため、ローカル操作機能である緊急解錠は用意しておりません。